

山下ふ頭のご視察について

1 日時

令和5年7月20日(木) 13:30~15:30

2 港湾局出席者

新保 康裕 港湾局山下ふ頭再開発調整室長

石川 哲夫 港湾局副局長

竹内 紀充 港湾局山下ふ頭再開発調整担当部長

荻原 浩二 港湾局山下ふ頭再開発調整課長

平野 清孝 港湾局山下ふ頭再開発調整担当課長

3 当日のスケジュール

時間	内容	場所	備考
13:30 ~14:00	開発事業の概要説明	市会棟	
14:00 ~14:20	移動 市庁舎~マリンタワー		港湾局公用車で、ご案内いたします。
14:20 ~14:50	マリンタワー視察	マリン タワー	タワーより山下ふ頭をご覧いただきます。
14:50 ~15:15	山下ふ頭内視察	ふ頭内	車内及びふ頭先端付近で下車いただき、ご視察いただきます。

※終了後、市庁舎に戻り解散

2 市民意見交換会

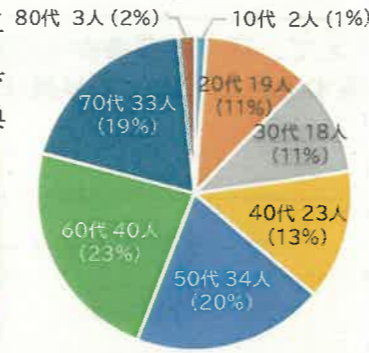
(1) 開催概要 参加者総数 172 人 (付箋で出された意見の数 2,555 件)

前回の市民意見募集や意見交換会の結果等から整理したテーマをもとに具体的な再開発のイメージについて意見交換するとともに、導入機能の具体的なアイデアと山下ふ頭である理由、期待される効果について意見交換

開催回	開催日	開催場所	参加者数 (グループ数)
第1回	4年12月17日(出)	横浜市庁舎	44人(8)
第2回	5年1月14日(出)	横浜ビジネスパーク	38人(6)
第3回	1月21日(出)	山内地区センター	21人(4)
第4回	1月28日(出)	神奈川県労働文化センター	26人(4)
第5回	2月5日(日)	横浜市庁舎	43人(8)
合計			172人(30)



【意見交換会の様子】



【参加者の年代別割合】

(2) 取りまとめ結果

ア 再開発のイメージ



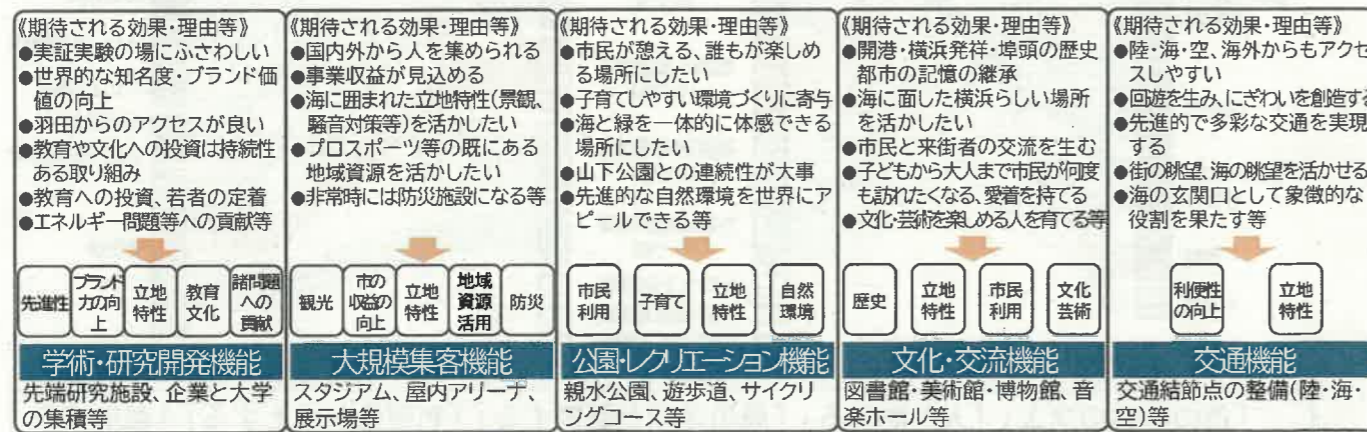
意見が出されたグループの数 (全部で30グループ)
グループワークのテーマ



【凡例】

異なるグループワークのテーマから共通した再開発のイメージが出されており、その中でも「市の収益の向上」「横浜ブランドを創る・高める」「市民が楽しめる・利用できる」等が多くのグループから出された

イ 導入機能



先進性やブランド力の向上等を期待して「学術・研究開発機能」、観光や市の収益の向上等を期待して「大規模集客機能」、市民利用や子育て等の視点から「公園・レクリエーション機能」、歴史等の視点から「文化・交流機能」、利便性の向上等を期待して「交通機能」が出された

3 法人提案募集 8件

スポーツ・コンサート等のエンターテインメント施設を中心とした提案



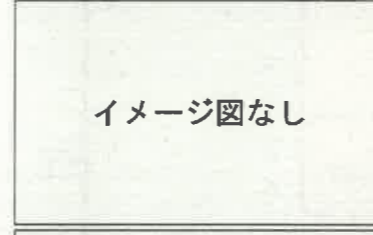
- (1) 開発コンセプト 環境と共生する『世界基準の遊び』を創造
- (2) 導入施設 発信する 11 万㎡ (アリーナ・半屋外ステージ、美術館、商業施設等)、学ぶ 7.5 万㎡ (大学、専門学校、産学連携施設等)、創る 7 万㎡ (制作スタジオ・アトリエ、研究開発等)、宿泊 17.9 万㎡ (ホテル、コンベンションホール等)
- (3) 法人名 株式会社久米設計(グループ代表)、ペイシャンスキャピタルグループ株式会社



- (1) 開発コンセプト 横浜文化発、世界の若者の成長拠点
- (2) 導入施設 文化施設 2 万㎡、スポーツ拠点、エンターテインメント・コンベンション機能 5 万㎡、ホテル・滞在 (若者のみ) 施設・教育・ショッピング・行政・医療等日常利用施設 10 万㎡、レストラン・ギャラリー・休憩・映画・トイレ 0.3 万㎡
- (3) 法人名 株式会社像建築設計事務所



- (1) 開発コンセプト 周辺市街地の魅力向上を目指した FUSION ISLAND
- (2) 導入施設 スポーツ、コンサート、コンベンション等マルチアリーナ 12 万㎡、オフィス施設 10 万㎡、ホテル 24.5 万㎡ (3,200 室)、商業施設 9 万㎡、展示場・会議室 10 万㎡、滞在型研修施設 2.5 万㎡、客船ターミナル 1 万㎡、エネルギー施設 1.4 万㎡
- (3) 法人名 リスト株式会社(グループ代表)、株式会社ホテル、ニューグランド



イメージ図なし

- (1) 開発コンセプト 海と風のヨコハマ・エンターテインメント・タウン「YET」
- (2) 導入施設 横浜デザインミュージアム (企画展、海外施設の巡回展)、県内外の大学の研究施設の誘致、MICE、ワールドカップ (インドアスポーツ、食)、エンターテインメント (大小コンサート、食)、ホテル 10,000 室
- (3) 法人名 NPO法人デザインニッポンの会(グループ代表)、有限会社天野和俊デザイン事務所

体験型テーマパークを中心とした提案



- (1) 開発コンセプト BAY CRUISE YOKOHAMA
- (2) 導入施設 世界最大の陸上クルーズ船 (様々な客室、国内外文化体験、イベント)、日本全国アンテナショップ (アンテナショップ)、日本最大の文化体験スタジオ (ダンス・イノベーション・e-sports 等)、スペースクルーズ (宇宙旅行模擬体験)
- (3) 法人名 ken-ken 有限会社(グループ代表)、株式会社アイヴィクト、リンクス都市企画一級建築士事務所

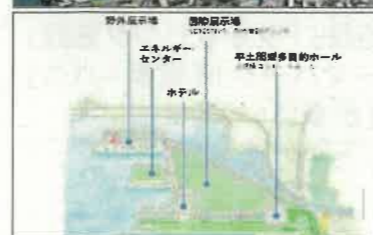


- (1) 開発コンセプト SPACEPORT "YOKOHAMA"
- (2) 導入施設 アミューズメント施設、展示館 (月面基地、アルテミス計画、火星移住計画、体験広場)、ハード展示館 (体験広場)、インターネット配信サービス (NASA 制作の映像配信、教育)、スペースショップ・レストラン
- (3) 法人名 ヒロ・インターナショナル株式会社 横浜支店

国際展示場等の施設を中心とした提案



- (1) 開発コンセプト 夢・希望・期待・楽しさを抱ける場所
- (2) 導入施設 国際展示場 25 万㎡、コンサート・イベント会場 (7~8 万人収容)、SDGs・水素エネルギー施設、その他施設 (次世代中長期滞在型宿泊施設 (7,000~10,000 室)、植物工場・生鮮食品市場・レストラン、給食センター、F1、医療防災拠点、教育施設)
- (3) 法人名 一般社団法人横浜港ハーバーリゾート協会



- (1) 開発コンセプト Yokohama WaterRing - Ship
- (2) 導入施設 国際展示場 25 万㎡、野外展示場、多目的ホール (コンサート・スポーツイベント会場)、エネルギーセンター、ホテル
- (3) 法人名 株式会社山手総合計画研究所

山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に向けた市民意見募集等の結果概要について

○令和3年12月から4年6月までに実施した市民意見募集では、「市民意見を反映し、その結果を踏まえて、広く事業者から提案募集をするべき」との意見を多くいただきました。
○そのため、4年11月から5年2月にかけて、前回の結果を踏まえ事業者の皆様から新たな提案を募集するとともに、より具体的な再開発のイメージや導入機能を伺うため、改めて市民意見募集や意見交換会を行いました。このたび、その結果の概要を取りまとめましたので、ご報告します。
○結果の詳細については、港湾局ホームページにて、6月中旬頃に公表する予定です。

1 市民意見募集

(1) 回答数 1,284 件

(2) 意見の取りまとめ方法

意見内容を、類似の意見に分類するアフターコーディングの手法により「再開発のイメージ」「導入機能」「理由」に分類し、類型化した上で集計・分析

(3) 取りまとめ結果

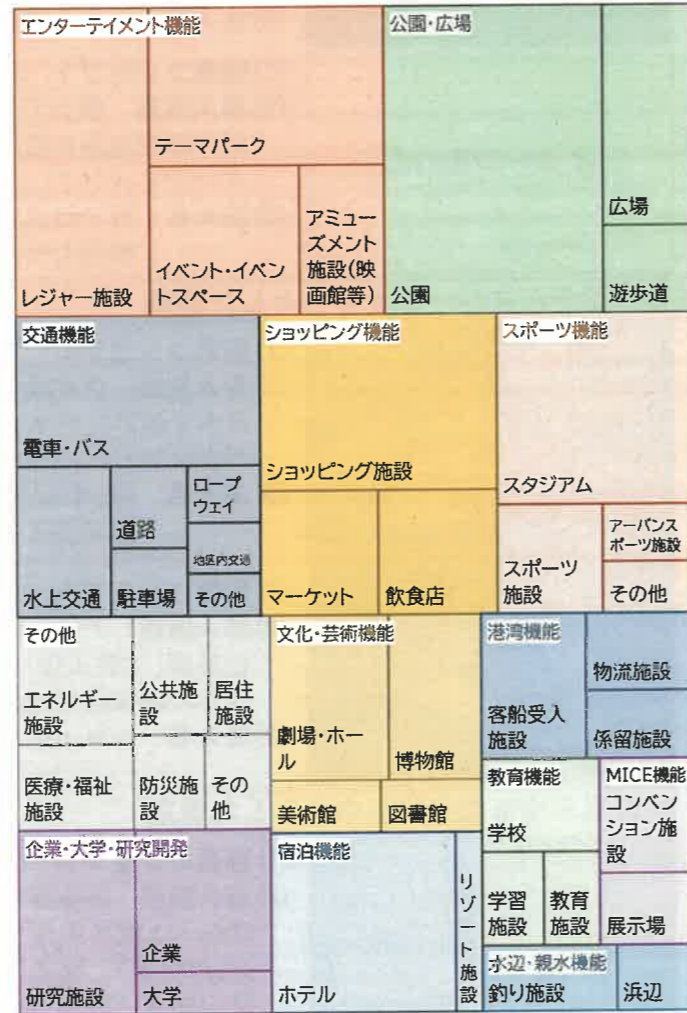
ア 再開発のイメージ



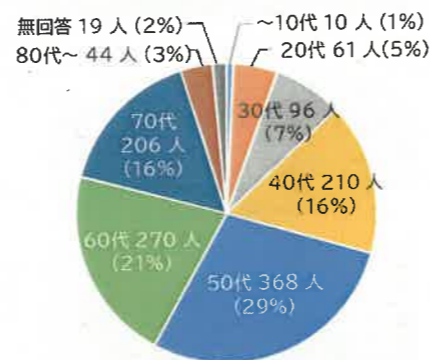
※図の見方：類型化した意見をテーマごとに集積して色分け、面積の大きさは意見の多さを表す

「幅広い世代が楽しめる」「市民が利用できる」「自然が豊かである」「観光資源を作る」「海・港を活かす」等の意見が多い

イ 導入機能

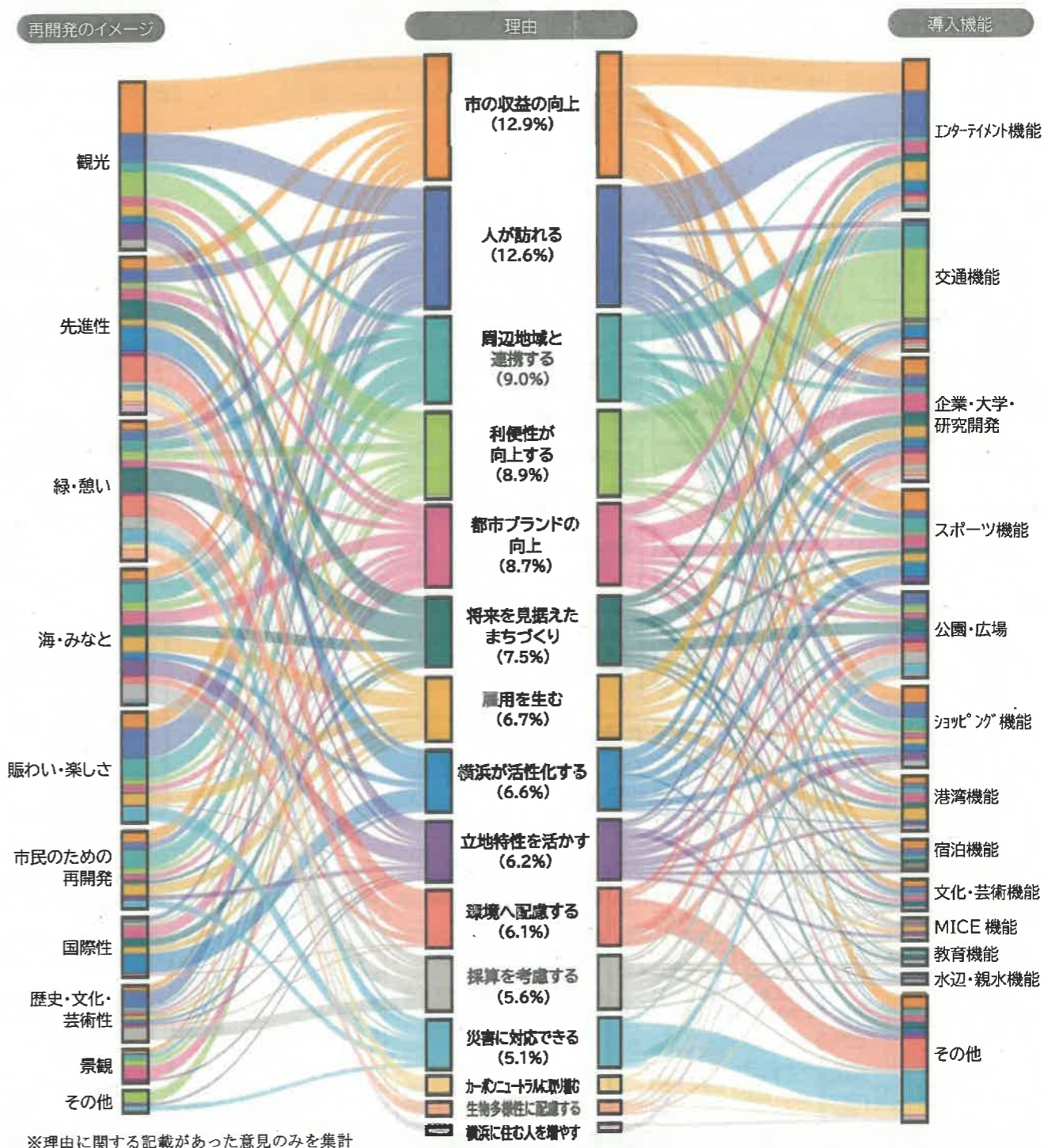


「公園」「レジャー施設」「ショッピング施設」「スタジアム」「テーマパーク」「電車・バス」「ホテル」等の意見が多い



【回答者の年代別割合】

ウ 再開発のイメージ及び導入機能を提案した理由



※理由に関する記載があった意見のみを集計

「市の収益の向上」「人が訪れる」「周辺地域と連携する」「利便性が向上する」「都市ブランドの向上」「将来を見据えたまちづくり」などが提案の大きな理由となっている